

7月の衛研検査情報

～トピックス～

平成25年度 医動物・種類同定検査のまとめ（4～6月）

医動物担当では、市民、各区福祉保健センター、各市場検査所、事業者などの依頼を受け、昆虫類を中心とした種類同定検査を行っています。昆虫類の種類を同定することによって、発生源、発生時期、人に対する害などが分かるため、効果的な対策を立てることにつながります。

主な結果 平成25年4月から6月の種類同定検査件数は、11件でした。内訳は昆虫類10件（コウチュウ目2件、ハエ目2件等）、その他の節足動物1件（ダニ目1件）でした。

遺伝子組換え食品の検査（その1）

遺伝子組換え食品は、内閣府にある食品安全委員会が安全性に問題ないと判断され、承認されたものが国内で製造・輸入・販売が可能になります。検査は、承認済みのものについては定量検査（食品中に遺伝子組換え体があるかどうかを調べる検査）を行います。一方、未承認のものについては定性検査（食品中に遺伝子組換え体があるかどうかを調べる検査）を行います。

主な結果 平成25年5月に各区福祉保健センターが収去した20検体について、遺伝子組換え食品の定性検査を実施したところ、検知不能である1検体を除き、違反検体はありませんでした。

水道水質検査の外部精度管理に関する調査への参加結果

衛生研究所では、厚生労働省が実施する「水道水質検査の外部精度管理に関する調査」に参加して、水質検査に係る技術水準の向上、検査体制の改善を通じて、検査結果の信頼性の確保に努めています。平成12年度から本調査は毎年実施されていますが、衛生研究所などの地方公共団体の機関が参加できるようになった平成15年度から24年度まで9回の調査に参加した結果を報告します。

主な結果 変動係数は無機物が0.01%～5.0%、有機物が0.9%～4.8%であり、規定値以内でした。また、Zスコアの絶対値は0.00～1.80の「満足」でした。詳細について、本編で説明しています。

衛生研究所WEBページ情報

衛生研究所WEBページは、感染症情報や保健情報、薬事情報、食品／生活環境衛生情報等を提供しています。検査情報月報では、アクセス件数をもとに、どのような情報に関心が寄せられているかを解説しています。



主な結果 平成25年5月は、ぎょう虫(蟯虫)症、マイコプラズマ肺炎、クロストリジウム・ディフィシル感染症に関するページのアクセスが多くみられ、総件数は184,686件でした。



詳しくは横浜市衛生研究所ホームページを御覧ください
<http://www.city.yokohama.lg.jp/kenko/eiken/inspection-inf/>



横浜市衛生研究所では、所内で行われた試験検査等の結果に解説を加えて、毎月、「検査情報月報」として報告しています。